

# 3学年通信

尾道市立高西中学校  
3学年通信第34号  
令和2年7月28日

## SNSの使い方を考えよう！～全校学活より～

金曜日の6時間目に、全校学活で「SNS」の使い方について考えました。便利な反面、顔が見えない状態でのやりとりの中でトラブルも多発している「SNS」。どういう使い方をしていけば便利な機能を有効に活用していけるのか、具体例を見ながら、問題点について考えました。

そして、最後に、「正しい使用宣言」を書きましたね。じっくり考えたことをもとに書いた宣言を心に留めて、相手を思いやった「SNS」の使い方をしていきましょう。



まずは、本時のめあてを確認します。日常の自分自身の行動を思い浮かべることで、考える必要性を実感したのではないのでしょうか。

続いて、同じ表現でも、1対1でのやりとりとグループでのやりとりでは受ける印象が違うことについて考えました。表現のどこに問題があるか、どう表現すればよいかなど考えましたね。



複数のラインのやりとりを見て、トラブルにつながる可能性はないか、このようなやりとりをすれぱうまくいくのではないかなど、比べ合う中でじっくりと考えました。



どの人もラインの具体例を見ながら、自分自身の体験を重ねて考えていたのではないのでしょうか。自分では問題ないと思っていた表現が人によってはトラブルの種になる可能性があると感じているなど、交流することで、「人によって感じ方や捉え方が違うこと」がよく分かったことでしょう。

今回は、使い方の中でも主に「表現」に視点を当てて考えましたが、その他にもトラブルにつながる種はたくさんあります。これを機に使い方を見直しをしていければと思います。

### 【正しいSNSの使用宣言】

- ・送る前に文章を再確認する。 ・相手のことを考えて発言する。
- ・言葉遣いに気をつけて書く。 ・相手の気持ちを考える。
- ・勘違いされそうな文章を書かない。 ・インスタで個人情報をつつさない。
- ・相手を思いやって一言一言を考える。 ・相手を傷つけるような言葉を書かない。
- ・悪口を書かない。 ・相手が幸せになる返信をする。
- ・相手にとって言葉のナイフにならないように気をつける。
- ・自分が発した言葉で相手が傷つかないかを考える。
- ・相手を傷つける言葉は絶対に送らない。

SNSでは「文字」でしか伝わらないため、思いが十分に伝わらなかったり、「そういうつもりで送ったわけではないんだけど…」といった思いのすれ違いがあったりしたと思います。みなさんが書いた宣言のように、「相手の受け止め」を「相手の立場」で考えることがそのようなトラブルを防ぐ有効な方法です。「その表現でいいのかな?」、「その使い方でもいいのかな?」—感情の赴くままではなく、ちょっと一呼吸置いて考える心の余裕を持って使っていきましょう。